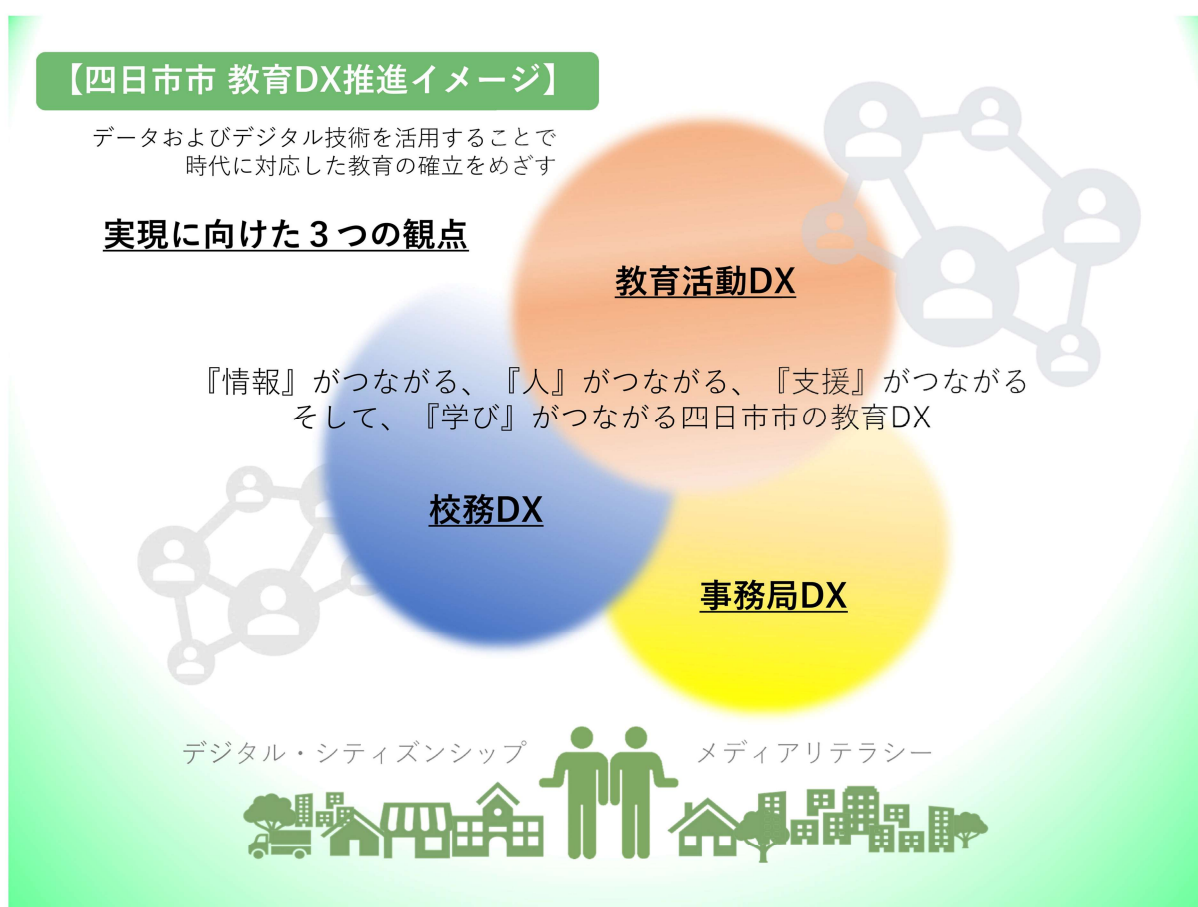


2 四日市市における教育DXの推進

(1) 四日市市の教育DXによりめざす教育

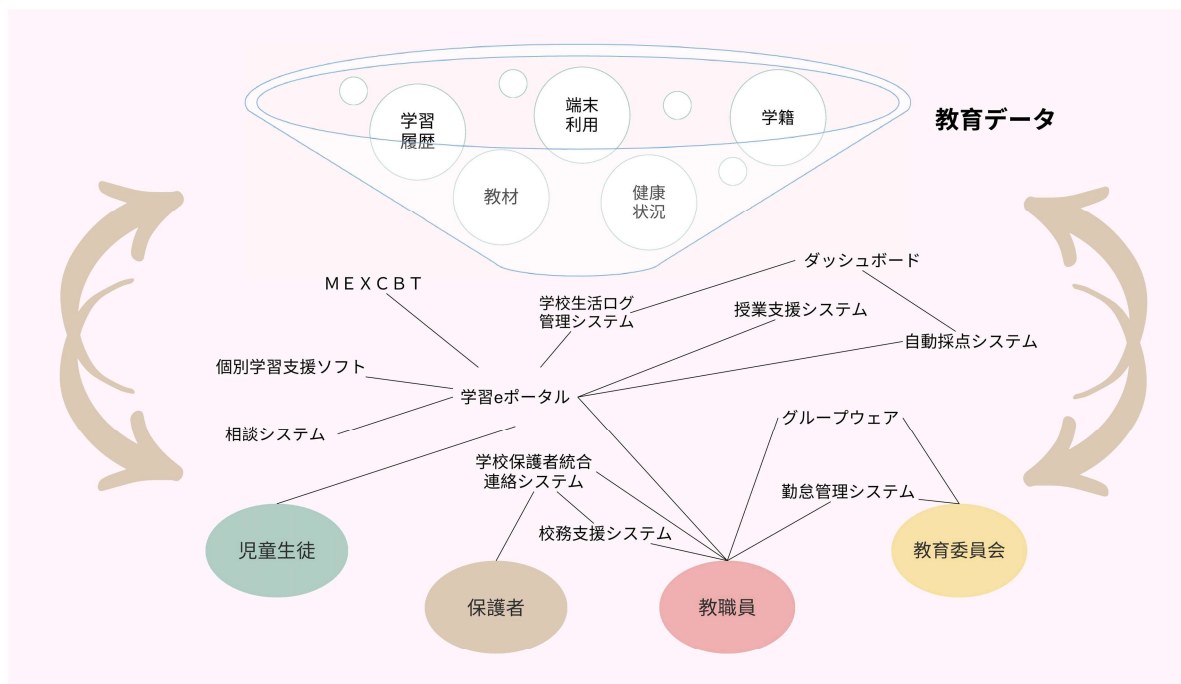
教育データおよびデジタル技術を活用することで、学校がカリキュラムの編成や学習のあり方を革新するとともに、教職員や事務局員の業務や組織、文化等を革新し、時代に対応した教育の確立をめざします。

(2) 四日市市における教育DXの推進イメージ



四日市市における教育DXとしては、「教育活動DX（児童生徒の学び方の転換）」「校務DX（教職員の働き方の転換）」「事務局DX（学校への支援の転換）」の3つの考え方で整理し、教育データ利活用の具体的な方向性を示すことで、本市の学校教育の情報化の更なる推進をしていきます。

(3) 教育データ利活用の実現に向けた本市の「環境整備12のシステム」



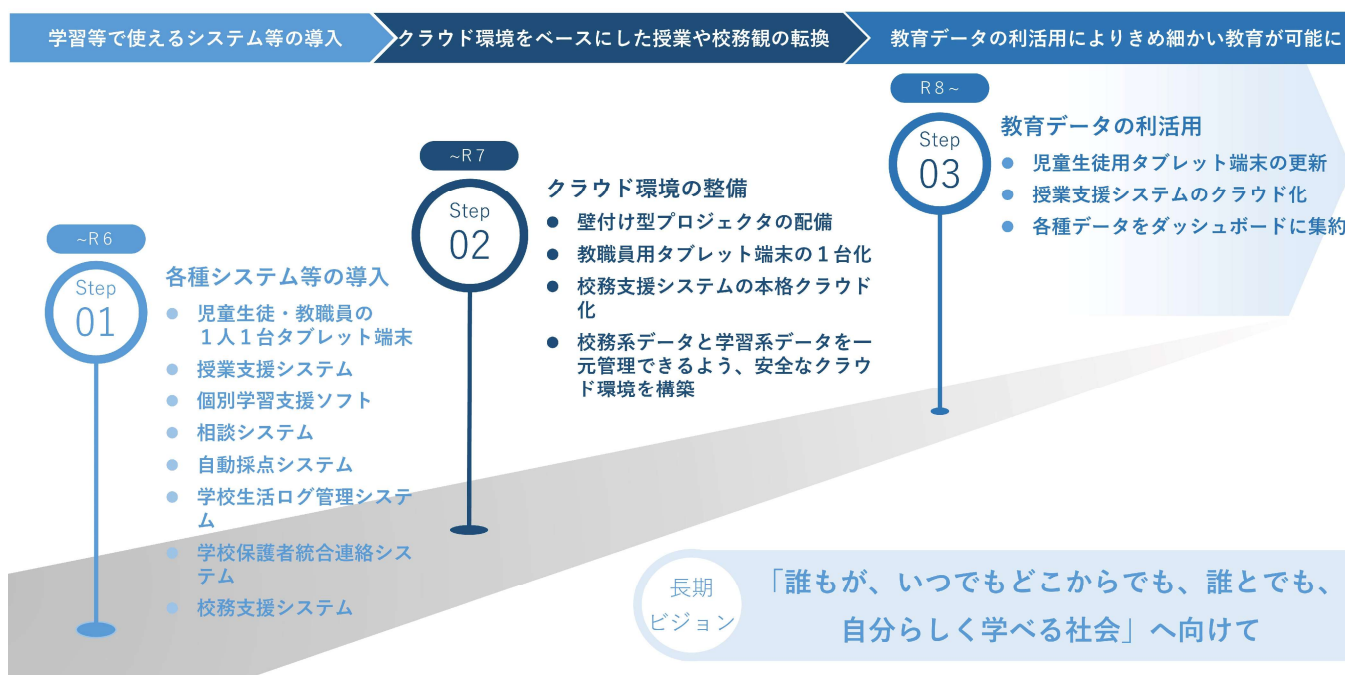
「環境整備12のシステム」

- ① 授業支援システム……………ICT で児童生徒の学びを促進しながら教員の授業運営をサポートするシステム
- ② 個別学習支援ソフト……………個に応じた問題が出題され、学習できるデジタルドリルなどのソフト
- ③ MEXCBT……………公的機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習等ができるプラットフォーム
- ④ 学習 e ポータル ……………MEXCBT やデジタル教材へアクセスする、児童生徒の学習のための窓口システム
- ⑤ 自動採点システム……………児童生徒が紙面で解答したテストを取り込み、デジタル端末上で採点できるシステム
- ⑥ 相談システム……………1人1台端末を活用して、児童生徒が自分の悩みなどを相談できるシステム
- ⑦ 学校生活ログ管理システム……………児童生徒の心の状態や生活の記録を可視化できるシステム
- ⑧ 校務支援システム……………成績や保健情報、学籍情報などを統合して管理するシステム
- ⑨ 学校保護者統合連絡システム……………保護者が出欠連絡を学校に送信したり、学校が便り等を配信したりできるシステム
- ⑩ グループウェア……………情報共有やコミュニケーションをスムーズにおこなえるよう管理ができる機能
- ⑪ 勤怠管理システム……………教職員の出退勤時間等を正確に記録・管理するためのシステム
- ⑫ ダッシュボード……………複数のデータなどを表やグラフなどの一覧で確認できる機能

「環境整備12のシステム」により可能となること

- ・ 様々な学習ツール等にシングルサインオン※が可能となる
- ・ 児童生徒等の様々なデータを共通の ID やパスワードで管理・連携することができる
- ・ 学習ツールで学んだ内容を集約・蓄積できる
- ・ 校務系データや学習系データ、行政系データなど、データ利活用に必要な様々なデータを連携し、包括的に保管・管理することができる
- ・ データへのアクセス権限の付与・制限を管理することができる
- ・ 教育委員会や学校、教職員、児童生徒、保護者がそれぞれ必要なデータをわかりやすく簡便に把握できるよう、データを分析・可視化できる

(4) 教育データ利活用の実現に向けたロードマップ



※ 「シングルサインオン」とは、1つのIDとパスワードで複数のウェブサービスを利用することができる仕組みのこと

(5) 教育データ利活用の実現に向けた学校の支援体制(四日市市 GIGA 総合支援)

